

WRT9630  
小形パターン・グループ設定器(アドレス設定機能付)(波設定機能付)でも設定ができます。

●小形パターン・グループ設定器(WRT9600)の各種機能は113頁をご参照ください。

## 小形パターン・グループ設定器(WRT9600)によるパターン・グループ制御内容設定方法

- パターン・グループ制御の範囲設定……1, 2, 4～8の操作をする。
- パターン・グループ制御の範囲確認……1～3, 8の操作をする。
- パターン・グループ制御の範囲変更……1～3, 5～8の操作をする。

### 〈パターン・グループ制御内容設定前に〉

- ①アドレスプラン表を完成しておいてください。
- ②T/U・スイッチ・セレクトスイッチのアドレス設定を済ませておいてください。
- ③フル2線信号線にWRT9600を接続する。

### ご注意

- 1) 使用しない負荷アドレスは、制御対象外とし、制御内容に入れないでください。
- 2) 小形パターン・グループ設定器は持ち歩き可能なため、パターン・グループ設定スイッチ(WRT5850)付セレクトスイッチ部の併設をおすすめします。
- 3) パターン制御・グループ制御を行う場合は、必ずパターン・グループ制御内容設定が必要です。

## ■伝送ユニットへのグループ制御の範囲設定手順(初期設定時)



- パターン・グループ設定器をフル2線信号線に接続する。
- パターン・グループ設定器の電源を入れる。
- 機能設定キー[G]を押す。

〈液晶パネル表示部〉

モード	制御種別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	G 2	0-1			7
					6
P-G設定		0-2			5
					4
初期	オール	0-3			3
	除外				2
特別	グループ	0-4			1

確認 スイッチ 入力/U リレー/U 調光/U 電池残量



- 「G2」の制御範囲を「0-1、0-2、1-1、1-2」とする場合
- カーソル▶、切り換え▲を押し、グループアドレスを「2」と選択する。

確認を2秒以上押し、「G2」の制御内容を伝送ユニットから入力し、カーソル▶、切り換え▲を押しながら確認する。20秒ほど読み込まれます。(確認が不要の場合③は行わなくてもよい)

〈液晶パネル表示部〉

モード	制御種別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	G 2	0-1			7
					6
P-G設定		0-2			5
					4
初期	オール	0-3			3
	除外				2
特別	グループ	0-4			1

確認 スイッチ 入力/U リレー/U 調光/U 電池残量

初期設定時はカーソル◀▼、切り換え▲を押し編集表示を「オール除外」と選択し、必ず実行を押す。●選択したグループの内容を消去できます。(確認・一部変更の場合④は行わない。)

〈液晶パネル表示部〉

モード	制御種別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	G 2	0-1	ON		7
					6
P-G設定		0-2	ON		5
					4
初期	オール	0-3			3
	除外				2
特別	グループ	0-4			1

確認 スイッチ 入力/U リレー/U 調光/U 電池残量

グループ制御対象負荷を決める。

- カーソル▶▼を押し、グループ対象としたいアドレスNo.を選択する。
- カーソル▶▼を押し、「0-1」のON/OFF表示に切り換え▲を押し、「ON」を選択する。
- カーソル▶▼を押し、「0-2」のON/OFF表示に切り換え▲を押し、「ON」を選択する。

〈液晶パネル表示部〉

モード	制御種別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	G 2	1-1	ON		7
					6
P-G設定		1-2	ON		5
					4
初期	オール	1-3			3
	除外				2
特別	グループ	1-4			1

確認 スイッチ 入力/U リレー/U 調光/U 電池残量

カーソル◀を押し、切り換え▲を押し、⑤と同様に「1-1」、「1-2」に「ON」を選択する。

(ON/OFF表示「ON」…グループ対象  
無表示…グループ対象外)



設定を2秒以上押し、「G2」の制御範囲を伝送ユニットに設定する。20秒ほど書き込まれます。他のグループの制御範囲を設定する場合は、②～⑦を繰り返し設定する。



電源OFF後、外す。

グループ設定が完了すれば、設定器の電源を切り、フル2線信号線への接続を外す。

## ■タイマー(遅れ消灯、一時点灯)機能の設定方法

上記、手順⑤の時点で、タイマー機能を持たせたいアドレスNo.に「ON」を選択した後、カーソル▶、切り換え▲を押し、タイマー表示に設定したいタイマー機能を選択する。

- タイマー機能…
- 一時点灯  
30秒、1分、5分、60分、120分
  - 遅れ消灯  
30秒、1分、5分

- 一時点灯・遅れ消灯回路を計8回路まで、1つのグループに設定可能です。
- グループ制御では、調光の明るさレベル制御(設定)はできません。

注)リレー制御用T/Uにリレーが接続されていない端子がありアドレスを設定している場合は、グループ設定時にそのアドレスをグループ対象外としてください。

●エラー表示について

エラー表示	症状(メッセージ)	点検	処置
P・G設定時	エラー(E-20) “フル2線信号が存在しません”	フル2線信号線が接続されていますか? 伝送ユニットの電源が入っていますか?	フル2線信号線を接続してください。 キャンセルを押して、伝送ユニットの電源を入れてください。
	エラー(E-21) “伝送ユニット判別ができません”	伝送ユニットがWRT2000K系列で、システムに接続されている調光T/Uの切替スイッチが、WRT2050側になっていませんか? 伝送ユニットがWRT2050系列以外のフル2線システムで個別または設定スイッチが繰り返し操作や、熱線センサが検知していませんか?	接続されている調光T/Uの切替スイッチをWRT2000K側にしてください。 伝送ユニットに対して入出力中に、フル2線システム側のスイッチ操作や、熱線を検知する可能性がある場合は本器を直接接続して入出力してください。

エラー表示	症状(メッセージ)	点検	処置
P・G設定時	エラー(E-22) “設定モードを解除してください”	フル2線システム側が設定状態になっていませんか?	キャンセルを押して、フル2線側のスイッチの「設定・通常切替スイッチ」を操作して通常モードにしてください。
	エラー(E-40)(E-41)(E-42) “データの出力ができません”	伝送ユニットがWRT2050系列以外のフル2線システムで個別または設定スイッチが繰り返し操作されていますか? 本器からフル2線システムへ入出力中に伝送ユニットの電源が切れていませんか?	伝送ユニットに対して入出力中に、フル2線システム側のスイッチ操作はしないでください。(スイッチが操作される可能性がある場合は本器を伝送ユニットに直接接続して入出力してください。) 伝送ユニットの電源が原因調査対策後、伝送ユニットの電源を入れ、再度入出力してください。

■伝送ユニットへのパターン制御の内容設定手順(初期設定時)



- パターン・グループ設定器をフル2線信号線に接続する。
- パターン・グループ設定器の電源を入れる。
- 機能設定キー [P] を押す。

〈液晶パネル表示部〉

モード	制御別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	P 2	0-1	—	—	7
P-G設定	フリット	0-2	—	—	6
初期	オール	0-3	—	—	5
特別	ON	0-4	—	—	4
					3
					2
					1

確認 スイッチ 入力T/U リレーT/U 調光T/U 電池残量

- 「P2」の制御内容を「0-1、1-1をON、0-2、1-2をOFF」とする場合
- カーソル▶、切り換え▲を押し、パターンアドレス「2」を選択する。



- 確認を2秒以上押し、「P2」の制御内容を伝送ユニットから入力し、カーソル▶、切り換え▲を押しながら確認する。20秒ほどで読み込まれます。(確認が不要の場合③は行わなくてもよい)

モード	制御別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	P 2	0-1	—	—	7
P-G設定	フリット	0-2	—	—	6
初期	オール	0-3	—	—	5
特別	クリア	0-4	—	—	4
					3
					2
					1

確認 スイッチ 入力T/U リレーT/U 調光T/U 電池残量

- 初期設定時はカーソル◀、切り換え▲を押して、編集表示を「オールクリア」と選択し、必ず[実行]を押す。●選択したパターンの内容を消去できます。(確認一部変更の場合④は行わない。)

モード	制御別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	P 2	0-1	ON	—	7
P-G設定	フリット	0-2	OFF	—	6
初期	オール	0-3	—	—	5
特別	クリア	0-4	—	—	4
					3
					2
					1

確認 スイッチ 入力T/U リレーT/U 調光T/U 電池残量

- パターン制御対象負荷を決める。
- カーソル▶▼を押して、パターン対象としてアドレスNo.を選択する。
- カーソル▶▼を押して、「0-1」のON/OFF表示に切り換え▲を押して、「ON」を選択する。
- カーソル▼を押して、「0-2」のON/OFF表示に切り換え▲を押して、「OFF」を選択する。

モード	制御別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	P 2	1-1	ON	—	7
P-G設定	フリット	1-2	OFF	—	6
初期	オール	1-3	—	—	5
特別	クリア	1-4	—	—	4
					3
					2
					1

確認 スイッチ 入力T/U リレーT/U 調光T/U 電池残量

- カーソル◀を押して、切り換え▲を押して、⑤と同様に「1-1」に「ON」「1-2」に「OFF」を選択する。

ON/OFF表示「ON」…ON設定  
「OFF」…OFF設定  
無表示…パターン対象外



- 設定を2秒以上押し、「P2」の制御内容を伝送ユニットに設定する。20秒ほどで書き込まれます。他のパターンの制御内容を設定する場合、②～⑦を繰り返し設定する。



- パターン設定が終われば、設定器の電源を切り、フル2線信号線への接続を外す。

■調光レベル設定方法(調光T/Uご使用の場合)

上記、手順⑤の時点で、調光レベルを設定したいアドレスNo.に「ON」を選択した後、

カーソル▶、切り換え▲を押して、調光レベル表示に設定したい調光レベル1～7(暗～明)を選択する。

注)個別アドレス使用の調光制御を行う場合は、必ず伝送ユニットはWRT2050など、WRT2040系列をご使用ください。

■タイマー(遅れ消灯、一時点灯)機能の設定方法

上記、手順⑤の時点で、タイマー機能を持たせたいアドレスNo.に「ON」を選択した後、カーソル▶、切り換え▲を押して、タイマー表示に設定したいタイマー機能を選択する。

- (タイマー機能…●一時点灯30秒、1分、5分、60分、120分)  
●遅れ消灯 30秒、1分、5分
- 一時点灯・遅れ消灯回路を計8回路まで、1つのパターンに設定可能です。

■フェード時間設定方法

上記、手順⑤の時点で、

カーソル▼、切り換え▲を押して、フェード表示に設定したいフェード時間を選択する。

(フェード時間…ナシ、3秒、6秒、1分)

- 注1)フェード時間を設定する場合は、必ず伝送ユニットはWRT2050など、WRT2040系列をご使用ください。
- 注2)リレー制御用T/Uにリレーが接続されていない端子がありアドレス設定している場合は、パターン設定時にそのアドレスをパターン対象外としてください。
- 注3)OFFに対してフェード制御はできません。

## セレクトスイッチ部(パターン・グループ設定スイッチ付)によるパターン・グループ制御内容設定方法

注)グループ・パターン設定中、負荷は動作しません。  
注)アドレス設定には、設定器が必要です。  
(WRT9600)

(グループ・パターン設定の前に)

- ①アドレスプラン表を完成しておいてください。
- ②設定器(WRT9600)を使用し、T/U・スイッチ・セレクトスイッチのアドレス設定を済ませておいてください。

●設定内容が不用意に変更されないよう、パターン・グループ設定スイッチ(WRT5850)の共用部などへの設置は避けください。

### ■伝送ユニットへのグループ制御の範囲設定手順(初期設定時)

- グループ制御の範囲設定……**1**～**7**の操作をする。
- グループ制御の範囲確認……**1**～**3**, **6**, **7**の操作をする。
- グループ制御の範囲変更……**1**～**3**, **5**～**7**の操作をする。

セレクトスイッチの  
パターン・グループ設定スイッチも  
同様です。



1 パターン・グループ設定スイッチ (WRT5850)の保護カバーを開ける。



2 設定・通常切替スイッチを押す。(表示ランプ(赤)点灯)



3 範囲設定をしたい「グループ」のスイッチを押す。(スイッチのLED(緑)→(赤)点灯)



4 初期設定時は必ず「オールエリア外、除外設定用」スイッチを押す。(表示ランプ(赤)点灯) ●選択したグループの内容を消去できます。(確認一部変更の場合4は行わない)



5 個別制御用スイッチを押して、グループ制御対象負荷を決める。  
(LED(赤)点灯……………グループ対象)  
(LED(赤・緑)両方点灯……………グループ対象外)  
同じ方法で3, 4, 5を繰り返し設定する。

●タイマー設定を行う場合は右記をご参照ください。



6 グループ設定が終われば、設定・通常切替スイッチを押す。(表示ランプ(赤)点灯)



7 保護カバーを開める。

### ■タイマー(遅れ消灯、一時点灯)機能の設定方法

- ①グループ制御の範囲設定をする前に、タイマー(遅れ消灯・一時点灯)機能を持たせたい「個別制御用」スイッチにタイマー機能をワイヤレスアドレス設定器(WRT9630・WRT9600・WRT9500K)で設定を済ませておく。
  - ②上記、手順5の時点で、タイマー(遅れ消灯・一時点灯)機能に設定した「個別制御用」スイッチのLEDを(赤)・(緑)両方点灯させる。
  - 一時点灯・遅れ消灯回路を計8回路まで1つのグループに設定可能です。
- 注)グループ制御では、調光の明るさレベル制御(設定)はできません。

### ご注意

- 1)リレー制御用T/Uにリレーが接続されていない端子がありアドレスを設定している場合は、グループ設定時にそのアドレスをグループ対象外としてください。
- 2)グループ設定中にワイヤレススイッチを操作しないでください。

### ■伝送ユニットへのパターン制御の内容設定手順(初期設定時)

- パターン制御の内容設定……**1**～**7**の操作をする。
- パターン制御の内容確認……**1**～**3**, **6**～**7**の操作をする。
- パターン制御の内容変更……**1**～**3**, **5**～**7**の操作をする。

●便利機能 パターン設定時4の後に

#### ●オン設定が多い場合

オールオン設定用スイッチを押し、オン設定以外の負荷を個別スイッチで設定したい状態に変更する。

#### ●オフ設定が多い場合

オールオフ設定用スイッチを押し、オフ設定以外の負荷を個別スイッチで設定したい状態に変更する。



1 パターン・グループ設定スイッチ (WRT5850)の保護カバーを開ける。



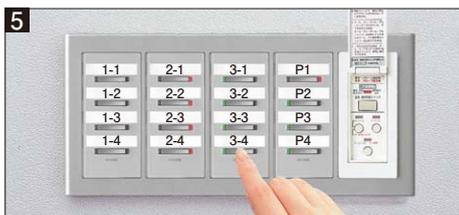
2 設定・通常切替スイッチを押す。表示ランプ(赤)点灯



3 内容設定をしたい「パターン」のスイッチを押す。(スイッチのLED(緑)→(赤)点灯)



4 初期設定時は必ず「オールエリア外、除外設定用」スイッチを押す。(表示ランプ(赤)点灯) ●選択したパターンの内容を消去できます。(確認一部変更の場合4は行わない)



5 個別制御用スイッチを押して、パターン制御対象負荷を決める。  
(LED(赤)点灯……………ON)  
(LED(緑)点灯……………OFF)  
(LED(赤・緑)両方点灯……………パターン対象外)  
同じ方法で3, 4, 5を繰り返し設定する。

●調光レベル設定・タイマー設定を行う場合は右記をご参照ください。



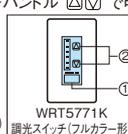
6 設定後、「設定・通常切替」スイッチを押し、「通常」に戻す。(表示ランプ(赤)点灯)



7 保護カバーを開める。

### ■調光レベル設定方法

- ①ON・OFF制御のスイッチハンドルを押し、LED表示を(赤)点灯させる。
  - ②調光スイッチのスイッチハンドル(ON/OFF)で明るさレベル設定をする。
- (△…明るさアップ、▽…明るさダウン)  
(目盛としてLED6コにて明るさレベルを調整する)
- 注)調光スイッチ以外では明るさレベル設定はできません。(ON/OFF設定のみ可能)



### ■タイマー(遅れ消灯、一時点灯)機能を設定する場合

- ①パターン制御内容の設定をする前に、タイマー(遅れ消灯・一時点灯)機能を持たせたい「個別制御用」スイッチにタイマー機能をワイヤレスアドレス設定器(WRT9630・WRT9600・WRT9500K)で設定を済ませておく。
- ②上記、手順5の時点で、タイマー(遅れ消灯・一時点灯)機能を持った「個別制御用」スイッチを操作しLEDを(赤)・(緑)両方点灯させる。
- 一時点灯・遅れ消灯回路を計8回路まで1つのパターンにタイマー設定可能です。

### ご注意

- 1)リレー制御用T/Uにリレーが接続されていない端子がありアドレスを設定している場合は、パターン設定時にそのアドレスをパターン対象外としてください。
- 2)パターン設定中にワイヤレススイッチを操作しないでください。